

## 第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 保健・医療・福祉・スポーツ分野

日時：令和6年8月23日（金）10：00～12：00

場所：恵庭市民会館 大会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。22名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。



# Aグループ

分野別WS 保健・医療福祉・スポーツ Aグループ

○恵庭らしさと10年後のまち

市民の  
 ・子育てに負担が少なく済みます  
 ・くたくたを感じます  
 ・近隣のまちと共同で充実させたい

便利  
 遠征  
 子育てしやすい  
 住みやすい  
 色々と住みやすい  
 災害  
 意識  
 気持での  
 パワポ  
 手話  
 高齢者の元  
 気のいい  
 スポーツ  
 しゃべり  
 まち  
 スポーツ  
 親戚の  
 まち

注意  
 まち  
 お花の  
 まち

デジタル  
 まち  
 バランス  
 まち  
 個別支援  
 (災害)  
 まち  
 まち

○10年後のまちにおける  
 私達がやること

アクション  
 しつづける  
 (自分達の課題)

お金  
 が必要  
 補助金!!

コミュニケーション  
 横断的  
 連携  
 人との  
 関わり  
 大事

自分達の  
 課題  
 10年後  
 自分達の  
 課題  
 (自分達の課題)

お金  
 システム  
 やる為の  
 仕組み  
 敷いてほしい  
 運営の手法

後継者  
 育成  
 後継者の  
 育成  
 (日頃の  
 関係性)

組織  
 ネットに  
 (何個も  
 関係性)

私達は  
 貴重存在

市民への  
 関わり  
 フェール

交生  
 まち  
 つづける

- ・恵庭は、札幌が近く、災害が少なく、子育てがしやすく、住みやすいまち
- ・10年後について考えると気持ちの上でのバリアフリーがもっと広がるといい、障がい者への理解がもっと広がればいい。助け合い、支え合いが広がるまち、地域で困っていることがあれば、助けてほしいことを気軽に話ができるようになるといい
- ・子どもから高齢者まで、幅広い世代においてスポーツがしやすいまちになればいい
- ・それぞれの分野においてしっかり役割を果たし、活動を継続できるようにしていくには、行政からの支援も必要
- ・高齢者、障がい者が抱える課題を我が事として考えていかなければならない。日常的な情報の提供の仕組みづくりが必要
- ・情報を広く市民に周知できるようにしていく必要がある
- ・様々な活動を継続していく為には、後継者育成が必要。日常的に関係性を築きながら、徐々に後継者になってもらう
- ・障がい者、高齢者、子どもは、各分野で支援する施設やサービスがあるが、バラバラではなく、子どもから高齢者まで安心して住み続けられるような施設があるといい

# Bグループ

第6期 恵庭市総合企画  
分野別 まちづくりワークショップ

◎保健・医療福祉・スポーツ分野◎

◎みんなが活き件元気なまち

◎人なぐもりを築くまち

◎近隣のまちと共同で充実した医療・スポーツ

100坪 まち ストア

10年後のまちにむけて  
何をしたいか

声かけ  
挨拶  
コミュニケーション  
あいさつ  
からコミュニケーションがわかる

→ 朝の子どもの見守り  
(大人側の心が豊かになる)

見守り

住居医の  
誘致  
(補助金?)  
メダカ  
センター  
誘致

情報共有 → 相談できる  
(住民)

ICT-SNS  
活用

横のつながり  
をこころ  
をいっしょ

・老人クラブ  
・100坪体験  
・若い人がいれる  
町内会活動

10年後のまち

福祉の課題  
中々解決  
していない

白雲会の  
存在などの課題  
周知する  
必要がある

だれでも  
生活しやすい

道路が  
整備されて  
出歩ける  
まち

色んな団体  
がつかみ  
あつ

早期検診  
無料

健康寿命  
日本一!!

産婦人科  
がある

総合診療  
(在宅医)が  
たくさん  
いる

家ごとの  
暮らし  
を応援

医療・医師  
(在宅医師)  
の誘致  
(田舎暮らし)

交通の便が  
よくなくて  
駅前通学が  
大変

バスが  
利用  
しやすい  
環境に  
してほしい

安全に  
練習できる  
施設  
(公園)

子ども達の  
遊べる場所  
がある

おだ  
やか

自然に  
ふさわしい  
場所がある  
欲しい

協会の  
活動  
を継続  
したい

高齢者が  
いきいきと  
暮らせる  
まち

後継者の育成  
つなげたい  
子どもが産める環境  
今の子どもの経験  
医療機関の充実

聴く情報  
SNS(視覚情報が多い)  
FM(音声情報)

子どもが 医師に  
気軽に  
相談できる

→ 医師が恵庭で開業  
しやすくなる

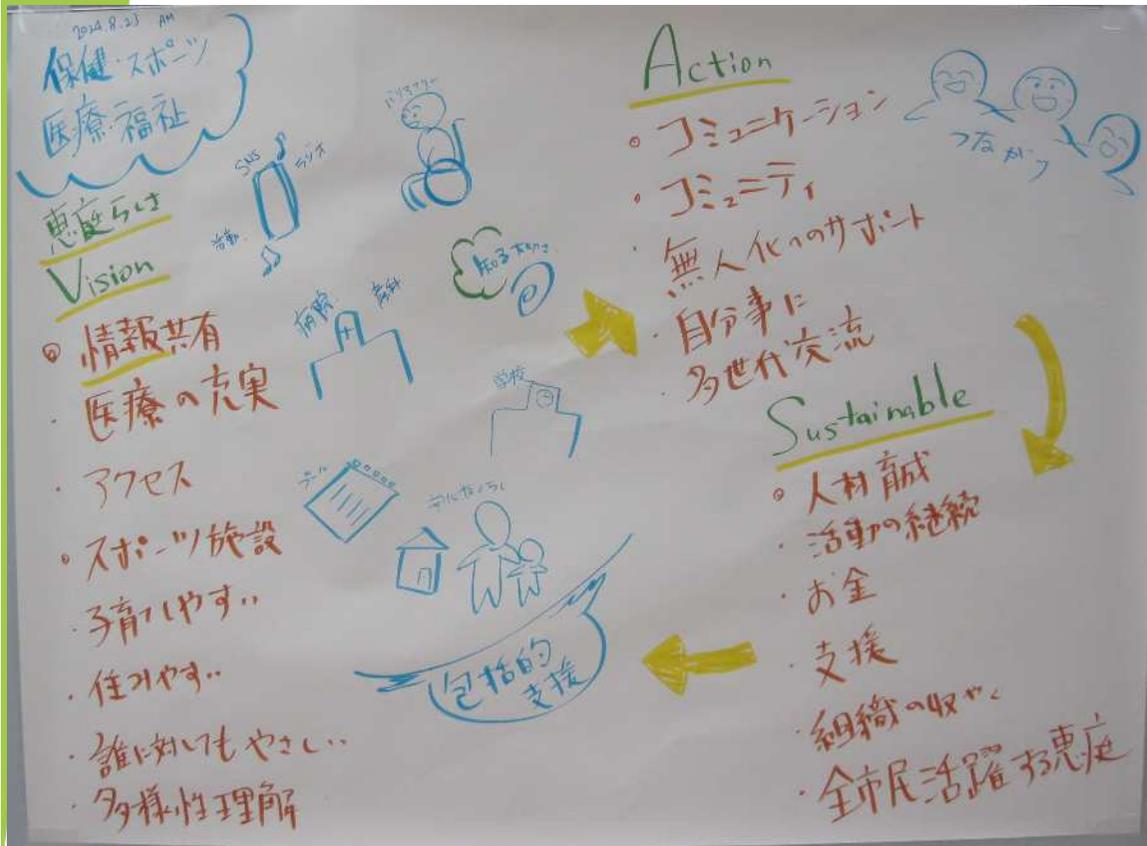
「B4」

G.Fly 菊池

- ・助けを必要なときに受け止めてくれる場所があるということが大事である。情報をしっかりと共有できるようにしておくことが必要で、また、誰でも情報を受け止めやすいようにする
- ・健康づくりも大事で、スポーツがしやすい環境づくりがあるとよい
- ・病院に行く際のバスが利用しやすくなるといい
- ・市民同士のコミュニケーションをより一層図っていくことも大事で、まずは挨拶からはじめてコミュニケーションを深めていく。市民同士の情報共有も必要である
- ・見回りしたり、様々な取組に関する活動の情報も共有できるといい
- ・情報を共有し、気軽に相談できたり、つながりを持てるようになっていくといい
- ・少子高齢化が進んでいるので、様々な活動の後継者の育成が重要
- ・安心して子どもが産める環境も大切。医療機関も充実してほしいし、医師が恵庭で開業したいと思ってもらえるようになるといい
- ・SNS等は視覚情報が多いが、視覚障がいのある方もいるので、音声でも情報を取れるようラジオ等での情報発信の充実も大事



## まとめ



### <恵庭らしさと10年後のまち>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「情報共有」「医療の充実」「アクセス」「スポーツ施設」「子育てしやすい」「住みやすい」「誰に対しても優しい」「多様性理解」であった
- ・3つのグループから共通したキーワードが「情報共有」だった。情報といっても色々あり、例えば、こういった情報はSNSで発信し、充実をはかるといってもいいが、音声での発信も忘れずに行った方がよいとの話があった。また、それぞれの活動を知ってもらう為に必要な情報発信、暮らしに関わる情報発信の必要性についても意見があげられた

### <10年後のまちに向けて私達ができること>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「コミュニケーション」「コミュニティ」「無人化のサポート」「自分事」「多世代交流」であった
- ・市民同士のつながりを持てるようコミュニケーションをはかり、様々な世代の方と交流することも必要であるとの意見等があげられた

### <持続可能なまちのために>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「人材育成」「活動の継続」「お金」「支援」「組織の集約」「全市民が活躍する恵庭」であった
- ・持続可能なまちとする為、また若者に今後活躍してもらう為には人材育成が必要である。これまでの様々な活動も継続していけるようにしなければならないということ、その他、多数ある似たような組織は、少子高齢化や人材不足の現状をふまえて集約するといった見直しも必要との話もあった。なお、様々な活動を続けていくためにはやはりお金が大事という話もあった
- ・全市民が活躍するまちにしていくことが必要であるとの意見があげられた



## 第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 生活環境分野

日時：令和6年8月23日（金）14：00～16：00

場所：恵庭市民会館 中会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。4名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。





## 第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 子育て・教育分野

日時：令和6年8月26日（月）10：00～12：00

場所：恵庭市民会館 大会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。12名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。



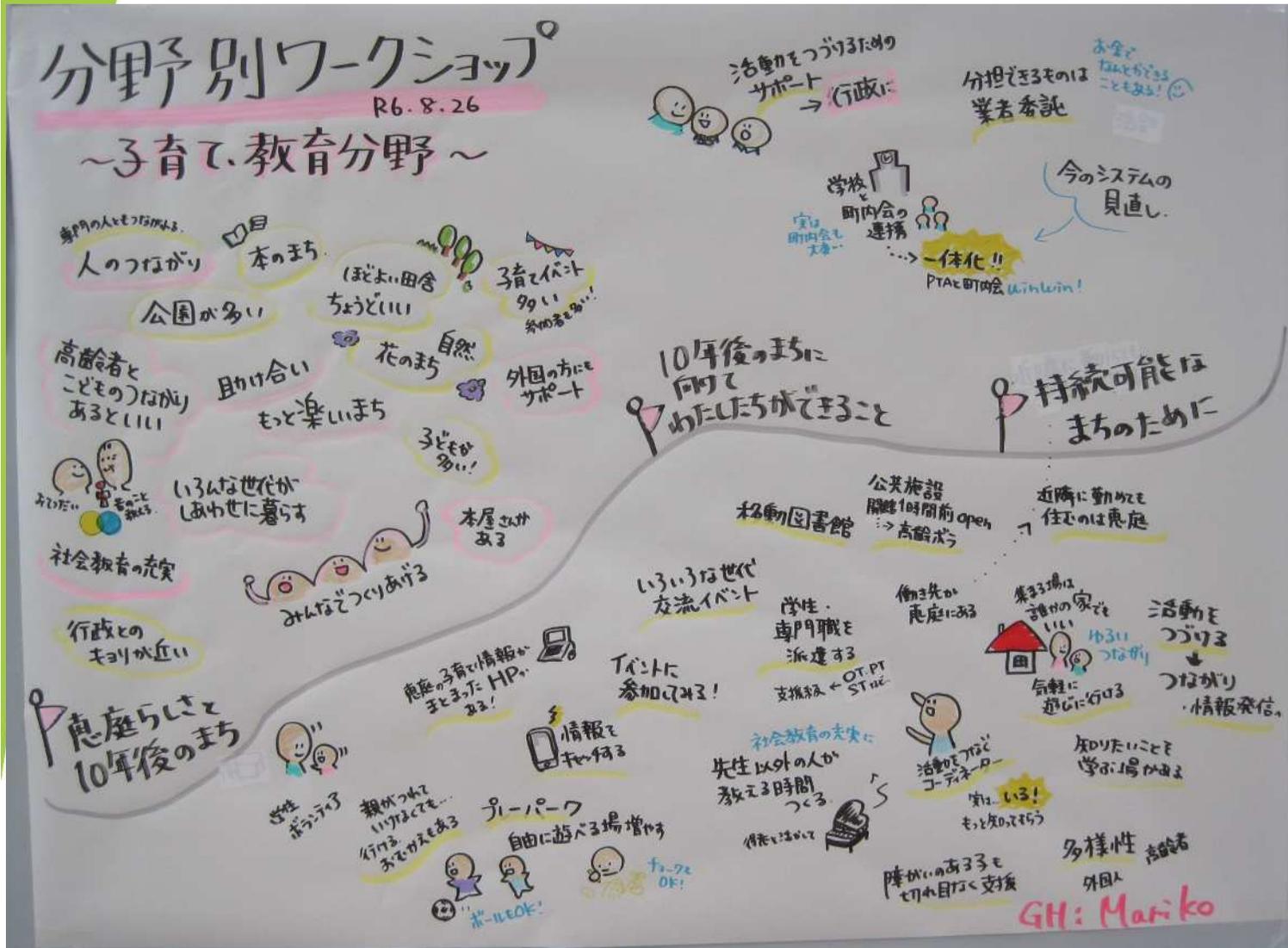


# Bグループ



- こどもたちが遊べる場所が少ない
- 10年後としては、人が集える場所が出来てくると良い、移動図書館で集まれる
- 専門家の派遣 コロナでサークル活動もなくなってしまった
- 情報共有をICT化してくると大学等との連携も考えられる
- 近所等の身近にある施設があると良い
- ちょっとだけゆるくつながっている状態だと良いのではないかな

# まとめ



- 恵庭は人のつながりが良い
- 子育てに限らず、幸せに暮らす
- 高齢者と子どものつながり、学生さんと子どものつながり、外国人へのサポート
- 情報発信については、どちらのグループでも出てきていた
- 子どもの遊べる場所、自由に遊べる場所があると良いし、その場に行けないということが無いようにボランティアの送迎等があると良い
- 理学療法、作業療法等の専門家が派遣されることで学びが深まる
- つながりベースで集まることが気軽にできるようになると良い
- 分担できるものは業者委託しようというところは持続可能という点で良い

## 第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 市民協働・共生分野

日時：令和6年8月26日（月）14：00～16：00

場所：恵庭市民会館 大会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。13名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。









## 第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 産業・観光・まちづくり分野

日時：令和6年8月27日（火）18：30～20：30

場所：恵庭市民会館 大会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。11名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。

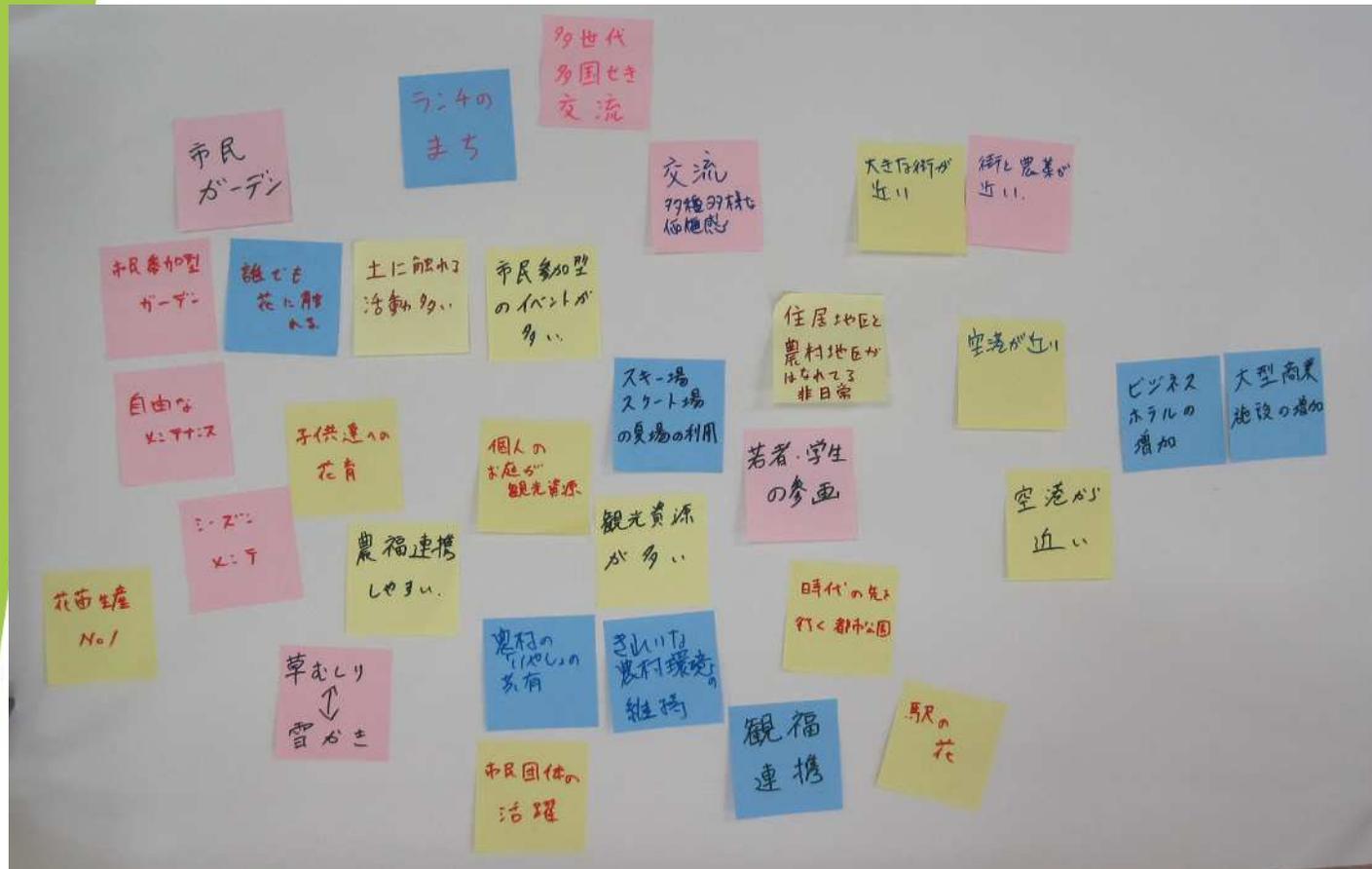


# Aグループ



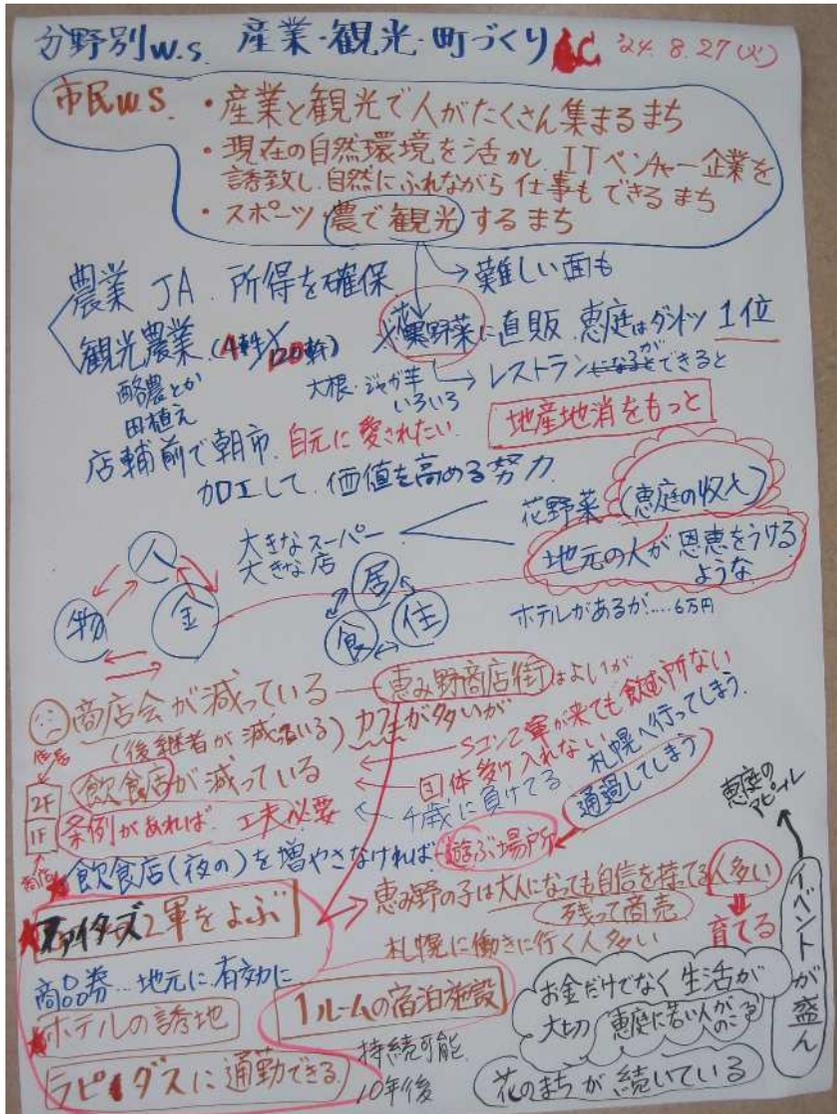
- 人に優しい市民であることが大事。人を受け入れる優しさがある市民であるということ
- 恵庭の都市計画はしっかりしていると思う
- 10年後の理想としては、このまま変わらないということ
- 相反するが、変わらないために変わり続ける
- 変わらないために変わり続けるというのは、花のまちと言われているが、花を植えれば、それで終わりではない。その後の草むしり、手入れ等もしなければならない
- これまで、花を植えてきた人達が高齢化している。これからも、花のまちとするならば、そこに関わる人達も変わっていかなければならない
- 持続可能なまちづくりとしては、やはり世代交代し、若い人たちが活躍できるようにしなければならない
- 子ども達が将来恵庭に帰ってきたいというまちにしたい
- 例えば、たくさんの思い出づくりができ、イベントが楽しめ、花壇づくりに取り組み、花のまちとしてあり続けること等が必要

## Bグループ



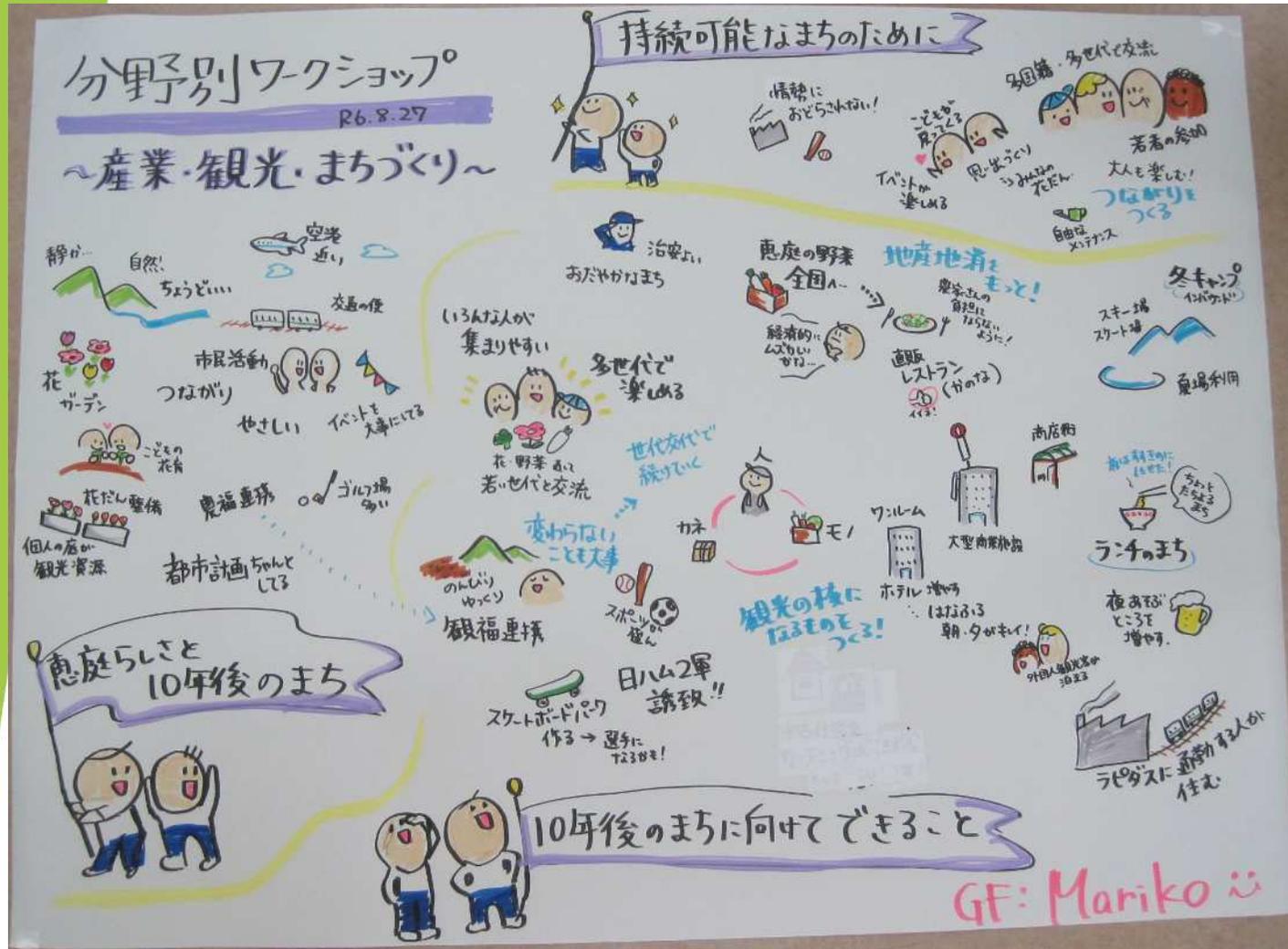
- ・ 恵庭は、観光資源が多い。自然が近くにある
- ・ 花のまちということで、土いじりや花を植える人が多く、子ども達も花を植えるのがとても上手
- ・ ガーデニング、個人の庭が観光資源になっているが、今後どのようにやっていくか
- ・ きれいな農村を観光資源にしていく。観光資源とするにしても、難しい部分もある
- ・ 農福連携を、いろいろな人とやっていけるといい
- ・ 大型商業施設は少ないが、最近ラーメン屋等ができてきているようだ。ランチのまちにできないか。地元の素材を使う等、工夫してランチのまちになれるとよい
- ・ スキー場やスケート場を夏場も活用して観光につなげていきたい
- ・ 外国人も増えてきており、色んな人との交流が必要
- ・ 多種多様な価値観をみんなで共有できるといい
- ・ 若者、高齢者等との世代間の交流も大事である

# Cグループ



- ・スポーツ、農で観光するまちであるとの話だが、農業と観光でやっていくのは難しい。農業者は本業の農業だけでも忙しいので、農業者以外の方が観光の部分で利益を出して、それが農業者にも還元できるという形になっていくな、農業と観光が繋がるかもしれない
- ・例えば、農業と観光といっても、泊まるところが少ない。結局、札幌、千歳で泊まることになる。ホテルができた方がいいのかと言っても、夜、食べたり飲んだりするところがない
- ・日ハム2軍を誘致する。人がたくさん来て、宿泊できる場所、食べる場所、飲む場所も含めて計画を立てるべき
- ・地産地消は大事。野菜の地産地消もそうだが、商売の地産地消も大事。地元の人が地元の店に行く。地元の商店街活性化の為に、商売をやりたいと思うような人も育てていかなければならない
- ・お金だけでなく生活が大切。恵庭には、若い人がたくさん住んでいるが、若い人は札幌に行っている。結局、札幌で食べたり飲んだりしている。若い人たちが恵庭で食べたり遊んだりでき、最終的には仕事もできる場所にしていけるとよい

# まとめ



- <恵庭らしさと10年後のまち>
- ・恵庭は、自然も、交通の便も、都会との距離感もちょうどいい
  - ・花壇が整備され、花のまちであるということも多くあげられた
  - ・人とのつながりも大事にし、イベントを大事に、市民活動が活発であることもあげられていた

- <10年後のまちに向けて私達ができること>
- ・農業に関わる話をはじめ、花、野菜を通して若い世代と交流をしていくと、色々な人が集まるのではないかという話があった。多世代が楽しめることをポイントとするとの意見もあった
  - ・農業者の経済的な部分をどうするか、また、地産地消をもっとやっていくためにどうするかという意見もあった。例えば、地元野菜が食べられるレストランを農業者の負担にならない形でやれないかといったこともあげられた
  - ・ホテル、大型商業施設の誘致についても意見があげられた

- <持続可能なまちのために>
- ・若い人に参加してもらうことは大事で、そのためには交流が必要。多国籍、多世代で交流をしていくことが必要との意見もあった。色々な人達が参加するため、参加しやすい仕組みを作っていくことが大事である